

2023年5月号 おおきくなあれ



岐阜市芥見大般若1丁目84番地 河村病院 病児保育園クララ

HPアドレス <http://www.kawamuramedical.or.jp>

No. 278

新年度のスタートから早くも1ヶ月が経ちました。立夏を迎え、暦の上ではもう夏になりますね。過ごしやすい季節になりましたが、日によってはじりじりと日差しが照りつける真夏のような時もあります。健康状態にも注意しながら、生活していきたいですね。先月のクララでは、咳や鼻汁などの風邪症状で来園されるお子さんがほとんどでした。中には熱が何日か続くお子さんもみえ、心配されましたが無事に回復され良かったです。この時期は、急に夏日が訪れることもあり、体が暑さに慣れていないだけに子どもたちの体調管理には配慮が必要です。毎年、熱中症の報告は多く聞かれます。汗をいっぱいかく子どもたち。水分は常に持ち歩く状態でお出かけくださいね。5月は筍、グリーンピース、イチゴなど旬の食材も美味しい季節。たくさん食べて、たくさん遊んで、によきによき伸びる筍のように、どの子もぐんぐんおおきくなあれ！！



○子どもの日について○

5月5日は子どもの日ですね。今回はそんな子どもの日についてご紹介しようと思います。

子どもの日とは？

子どもの日は、端午（たんご）の節句の日でもあります。子ども達みんなが元気に育ち、大きくなったことをお祝いする日です。



端午の節句って何？

端午の節句は、ずっとずっと前から行われている行事のこと。もともとは病気や災い（悪いもの）を避けるための行事だったそうです。その行事のために使っていた「菖蒲（しょうぶ）」が、武士の言葉や道具に似ていることから、だんだんと男の子の行事になっていったというお話があるそうです。

どうしてこいのぼりを飾るの？

「鯉」というお魚は、流れが速くて強い川でも元気に泳ぎ、滝をものぼってしまう魚です。そんなたくましい鯉のように、子どもたちも元気に大きくなることを願う意味が込められています。五色の吹流しは、子どもの無事な成長を願って悪いものを追い払う意味が込められているんです。

トイレトレーニング Q&A

一般的に2歳前後にトイレトレーニングを始める方が多いと言われていますが、必要以上に焦らなくても大丈夫。心配のしすぎは、かえって大人も子どももストレスになってしまいます。お子さんの成長に合わせてゆったり進めていきましょう。

Q1 トイレトレーニングを始める時期は？

春から夏が一番おすすめです。暖かい季節は薄着なので着脱もすぐにできますし、衣服が汚れても洗濯物が少なく済みます。そして洗濯後干したのもすぐに乾きます。また冬は冷えるので排尿間隔が短くなり、リズムがつかみにくくなります。ただ冬から始めても問題はありません。冬に始めて、トレーニング成功した子もたくさんいます。

Q2 兄や姉は早かったのに下の子はなかなかとれないのはどうして？

兄弟で同じように育てているつもりでも、おむつが取れる時期は個人差があります。「お兄ちゃんは早く取れたのに・・・」などお子さんの前で言うと逆効果です。ひとりひとり違うことを理解した上で、ゆったりとした気持ちで関わりましょう。

Q3 毎晩おねしょをします。夜、起こしてトイレに連れて行った方がいいですか？

夜中には起こさない方がいいです。尿を少なめにして濃い尿を作るホルモン(抗利尿ホルモン)は夜、寝ている間に多く分泌されます。睡眠を妨げるとホルモンの分泌が少なくなり、おねしょが治りにくくなります。

5月の花について

5月といえば様々な花が五感を楽しませてくれる時期ですね。5月に開花を迎える花を紹介しましょう。

あやめ



5月は、端午の日。端午を祝って飾られる『菖蒲』に似た花として『あやめ』があります。優しく穏やかな紫色と、まっすぐに伸びた茎が特徴的です。ちなみに、あやめの花言葉は『良い便り』です。

カーネーション

カーネーションは、母の日に送る花として有名です。今年の母の日は5月14日の日曜日、母親に日頃の感謝の気持ちを伝える日ですね。母の日はどのようにして日本に広まったのでしょうか？日本に広まるようになったのは明治末期から大正にかけてです。当時、青山学院教授のアレクサンダー女史がアメリカの母の日を紹介し、それがキリスト教関係者によって広められました。カーネーションは5月の誕生花で、花言葉は『母の愛情』。いつもありがとうのメッセージを添えて、カーネーションを送ってみるのも良いですね。

チューリップ



5月といえば桜の開花が終わったころ、そのあとに続くように咲きほこるチューリップ。色とりどりのチューリップ畑を見に出かけるのもいいですね。